

短 歌 (投稿順)

蝶梅の咲く宝登山にただよう香甘芳しく春を先取る
野仏に誰がしたのか衣替え竹箇花瓶水仙の花
光差す尻羽岬の水平線かすかに見えるイカ釣りの船
三連覇の重責担う結弦さんアシンデントにめげずの演技
友ら集い同級会をしてますか米寿のわが仰ぐ星空
戦禍無き平和を願うウクライナ背筋の凍るニュースの紙面
転びても惨敗しても銀メダル輝き照らせ若人の栄え
南無大師遍照金剛口誦すかくも衆生は苦しく思ひ
日を追ひて新型ウイルス現るる棒線グラフに一喜一憂す
日溜りに節分草と福寿草小さき春を愛てる我が庭
カラス二羽鷹追いまわし羽根は散り小高き山に夕暮と消ゆ
三度目のワクチン接種二月済み安堵の日々を過ごせる弥生
勇気あるオリンピックの選手等の立派な競技に感動なせり
ワクチンの追加接種も進みきて巷の話題町長選へと
編み方の一目一目に悩みつつやっと仕上げた春のセーター
3年最後理科授業師曰く「みんなは私の宝物」
被災地の初採りワカメ注文す秩父の人と支援続けり

俳句 根岸茉莉 選 投稿数 16 句

年嵩み雪搔く五体の力かな
年嵩み雪搔く五体の力かな
反戦の声託されて鳥帰る
肥料買ひ春の雨待つ山畑

皆野 引間 千鶴
皆野 藤原マキ子
皆野 詩子
皆野 村田ハツ代

中天に日没急す春の月
梅の香や気持ち新たに進む道
八十路坂春光浴びて八千歩
鬼は外ホームの豆はお手玉で
皆野 横井 早苗
皆野 小原 和夫
皆野 江野ます子

マスクずらし蠟梅園の香に浸る
(評)米寿の祝膳の後、息子様夫婦と宝登山の臘梅園に行かけた時の句とか。見晴らしの良い小山を黄
に染め芳香を放つ臘細工の様な可憐な花。思わずマスクを外し甘い香りを胸一杯に吸い込んだ作者。
それは健康で、優しい人達に恵まれた幸運の香りでもあると思います。『香に浸る』に思いが込め
られています。二句目、春の雪は水分を含み重いので雪搔きは大変な仕事です。山地で特に足腰に
力がかかり、年を重ねて益々つらくなってきます。体を軋ませ、力一杯頑張っている作者。温かい
お風呂でゆっくり癒やしてください。三句目、独裁者の暴挙がもたらした悲惨な戦争は直ぐ止めて
欲しいです。北に帰る鳥達にこの思いを運んで行つてもらいたい気持ちになる作者。同感です。

三沢 真下 杏子

三沢 小1年

三沢 小6年

※現在は2年生

腰塚 美玲さん

三沢 小6年

※現在は皆野中1年生

河村 莉那さん

1歳になる赤ちゃんを
募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員
掲載します。誕生月の前月10日までに、
みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し
込みください。

5月号の締め切りは、4月11日(月)です。

問合せ みらい創造課 政策推進担当
☎26-7334



児童の見守り放送